

《議会報告版》

発行日：2018年4月

編集・発行／あびこ浩子

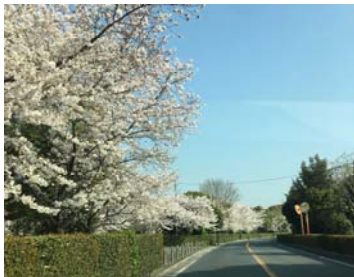
茨木市議会議員(無所属)



あびこ浩子
ゆめ・みらい通信

連絡先：(自宅) 茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

Facebook：あびこ浩子 | WEBサイト：http://www.hiroko-abiko.jp



桜通りの満開の桜



＝今年度は市制施行70周年記念の年＝
2018年3月議会が終了しました。

みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

茨木市議会は2月が年度替わりで、役員選挙がありました。今年度は桂議長・大野副議長、私が議会運営委員会委員長を担当しています。女性3人で議会運営を担っています。茨木市議会議員28名中女性は7名ですが女性パワーで頑張っています。3月議会では平成29年度補正予算案及び平成30年度予算案審議が行われました。市長の施政方針演説、各会派の代表質問、常任委員会、最終本会議と約1か月間議論が展開されました。今年度は市制施行70周年の記念行事が多く取り組まれます。

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業/1980大阪府立千里高校卒業/1984関西大学文学部卒業/2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了/大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
◆1984高槻市立第7中学校教諭/1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職/2000沢池幼稚園PTA会長/2002穂積小PTA会長/2006茨木市PTA協議会会長/2004NPO法人Chacha-House代表理事/2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長/2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事/2011穂積地区自主防災会会長/2012穂積地区福祉委員会副委員長
◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選/2009・1選挙2期目当選/2013・1選挙3期目当選/2017・1選挙4期目当選
◆穂積台在住

どんどん変わる!

「JR総持寺駅」開業
「JR茨木駅南側松ヶ本アンダーパス」開通

3月17日のダイヤ改正に合わせ、JR京都線(東海道本線)摂津富田～茨木間の新駅、JR総持寺駅が開業し記念式典が行われました。JR総持寺駅は、阪急京都本線の総持寺駅からは約600mです。停車する列車本数は上下各156本(平日)になるとのことです。JR総持寺駅では、JR西日本で初採用となる二重引戸式の可動式ホーム柵が設置されています/3月25日(日)午前10時から、開通式典が行われました。JRの電車が走ったままで工事を行うには、多くの技術を用いて、事故が無いようにと細心の注意が払われながら進めてこられたことが式典でのご挨拶の中で語られていました。式典の後、テープカット、車道の歩き初め、新しい信号の点灯が行われて、車が新しい道を走り始めました。



2018年3月定例議会報告



ネット中継・過去の動画も茨木市HP(茨木市議会)でご覧いただけます。

今年度は議会運営委員会委員長として議会運営委員会に、委員として民生常任委員会・中心市街地活性化特別委員会に所属、土地開発公社理事として活動しています。

茨木市総合保健福祉計画(第2次)について

第2次総合保健福祉計画が策定されました。この策定に当たっては、2年間、各地域でのワークショップによる課題の洗い出しから、市民の皆様へのアンケート調査など生活実態を把握することから始まり、総合保健福祉審議会と地域福祉・高齢者・障害者・保健医療の各分科会に分かれて個別計画を策定してきました。また今回は茨木市社会福祉協議会の地域福祉活動計画と一体的に策定し、地域における福祉活動がより円滑に進められるよう計画されました。国が提唱する「我が事丸ごとの地域共生社会の実現」の趣旨を踏まえ、縦割りと言われる行政計画を横串して刺す計画構成となっています。

地域課題を考えるにあたり、部落差別解消法が制定されたことを踏まえて、部落問題を地域課題と位置づけ各

相談機関といのち愛ゆめセンターの連携を述べています。隣保館である「いのち愛ゆめセンター」や男女協働参画センター「ローズWAM」での相談がこれまでの地域福祉計画に取り上げられてきませんでした。相談事例の中には、家族背景・地域の実情などが複雑に絡み合っていることが多いです。それらを地域の中で様々な相談機関が共に連携しながら解決を図っていく、或は相談者に伴走しながら解決策を見つけていく、そんな地域づくりにつながってほしいと要望しました。相談体制の再構築も書かれていますが、目指す目標に向かって一歩ずつ、市民の皆様のご理解を得ながら進むことを期待しています。

ユースプラザ事業の事業者が公募されます！

「子ども若者の居場所を再び取り戻してほしい」という要望が事業として形になります。かつて市内4館あった青少年センターのうち3館が2009年に廃止されました。「大阪府が青少年センター事業への補助金を削減したから、3館を廃止する」と市が提案し、廃止されてしまいました。青少年センターを居場所としていた障害のある子どもたち、とくに中学生になり部活動と一緒に出来ない子どもたちが放課後に青少年センターで地域の子供たちと一緒に過ごしていた居場所が無

くなってしまいました。結果として障害のある子どもたちは家に1人でじっとしていなければなりません。私は全く納得が出来ず復活してほしいと言い続けて9年が経過しました。当時の子どもたちには本当に申し訳ない気持ちです。子どもの貧困が叫ばれ、子どもの居場所が求められる今、ようやく再開できます！運営事業団体が募集されます。公開プレゼンが予定されています。子どもたちのためにガンバってください事業者の方お待ちしております！

第35号

国民健康保険制度の改正について

国民健康保険制度が改正され、4月から「安定的に運営し続けるために、市町村に加え、都道府県も共同で国民健康保険制度を担う」ことになりました。それにより大阪府で統一保険料率が示されました。

《変更点》◎各種手続きは市役所窓口でこれまで通りに実施されます。◎府内で同じ所得・同じ世帯構成であれば同じ保険料となるように減免基準や保険料を段階的に統一していきます。◎国民健康保険症の様式が10月から変更されます。◎保険料の前納報奨金制度は廃止されます。

北摂地域・茨木市は府内南部地域と比較すると保険料が安い市でした。これを府内で統一すると、安かった市町村は高くなり、高かった市町村は安くなると考えられます。必然的に本市は保険料が

上昇せざるをえないのですが、今回の制度改革にあたり国から平成27年度より1700億円が投入され、更に平成30年度から1700億円が投入されて合計3400億円が投入されています。また、心配された「法定外繰り入れの廃止」も今のところ見送られ、今年度も一般会計からの法定外繰り入れが行われましたので心配していた保険料の大幅なアップにならずに済みました。しかし6年間の激変緩和措置として段階的に保険料が上がっていくので、これから毎年負担が増えます。もともと国民健康保険の被保険者は「年金生活者」「失業者」「低所得者」「非正規雇用者」など「社会的弱者」の方が多くを占めています。負担増になり支払えなくなれば医療が受けられなくなり、保険の意味が無くなります。3年後の見直しの時に、負担増で困る方が出ないように強く要望いたしました。

介護保険条例の改正について

今年度は3年に一度の介護保険料の見直しの年です。高齢者数が増えるにつれ、保険利用者が増えていくので保険料が上がっていきます。平成28年度から

新総合事業がはじまり、要支援1、2の方への多様なサービスが開始されました。その利用状況で保険料は変わってきます。65歳以上の方の必要額が5542円と算定され、6億円の基金を投入した結果一人当たり5300円(月額)となりました。

「茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例」について

3月議会に「茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例」が提案され可決いたしました。「障害者差別解消法」の趣旨に則り、「障害を理由とする差別の解消」については、行政機関は『不当な差別的取り扱いの禁止及び合理的配慮の提供』を法的義務であるとされていますが、本市条例では更に一步踏み込んで民間事業者に対しても、「合理的配慮の提供」を条例上の義務としています。「合理提配慮」とは聞きなれない言葉ですが、

障害者権利条約第2条において（障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものである。）とされています。また、相談・あっせん・勧告・公表の仕組みや障害者差別解消支援協議会の設置が規定されています。手話を言語として認め、多様なコミュニケーション手段の確保が書き込まれています。この条例によって、障害者差別の解消は市民みんなの課題であるということです。差別解消への第一歩です。



お互いさまと思える茨木に！
生活者の視点を政治に！

あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(655)8460 (留守時はメッセージを残してください)

Email: abiko-h@hcn.zaq.ne.jp

【自宅】茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

HP: <http://www.hiroko-abiko.jp>

FACEBOOKページ

「あびこ浩子(茨木市議会議員)」

「あびこ浩子 茨木ゆめ・みらい工房」

Twitter @abiko_h (あびこ浩子(茨木市議会議員))



「あびこ浩子市制報告会」 開催します！

3月議会報告会を開催します。

★新年度予算の内容についてご報告します。ご意見をお聞かせください。



住宅マスタープラン策定に向けて

住宅マスタープランの取組が始まります。住宅(住まい)は生活の基本です。この計画は住宅政策の根幹となるものです。私は福祉的視点から高齢者や障害者、ひとり親家庭などが住まいの確保に困らない取組と、福祉部局と都市政策部局の連携を強く要望しました。

「いばらきWAON」販売中

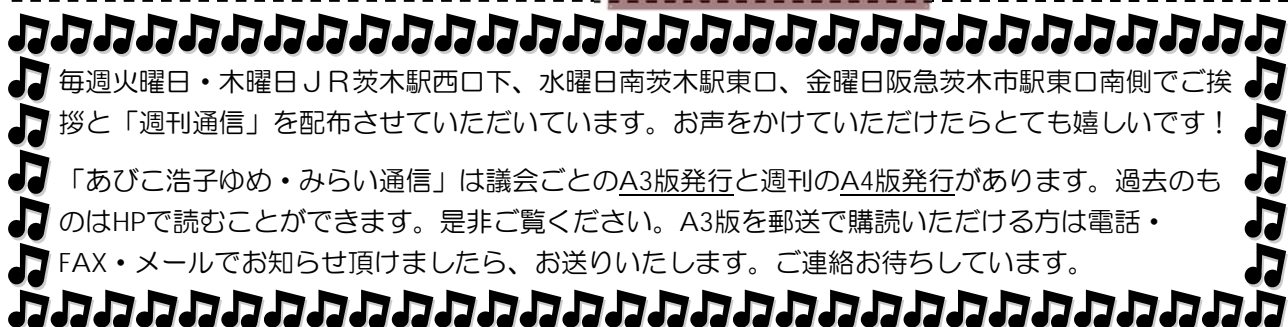
イオン株式会社と本市が地域活性化及び市民サービスの向上を図ることを目的に「教育」「地域産業の活性化」「健康増進・食育」「ご当地WAONカードの活用」など14項目において、相互に連携を図る包括連携協定を締結しました。「ご当地WAON『いばらきWAON』が近畿エリアのイオンや市内のダイエーなどで1枚300円で販売されています。『いばらきWAON』のご利用でその支払額の0.1%がイオンから本市に寄付されます。「教育のまち茨木」のまちづくりを応援する仕組みとなっています。



- ★5月7日(月)午後7～8：沢良宜いのち愛ゆめセンター
- ★5月8日(火)午後7～8：東コミセン
- ★5月11日(金)午後7～8：穂積コミセン
- ★5月12日(土)午前10～11：彩都西コミセン
- ★5月14日(月)午後7～8：総持寺いのち愛ゆめセンター
- ★5月15日(火)午後7～8：中津コミセン
- ★5月20日(日)午前10～11：耳原自治会館

お近くの会場に、どうぞお越しください。

申込はいりません。お待ちしております。



毎週火曜日・木曜日JR茨木駅西口下、水曜日南茨木駅東口、金曜日阪急茨木市駅東口南側でご挨拶と「週刊通信」を配布させていただいています。お声をかけていただけたらとても嬉しいです！

「あびこ浩子ゆめ・みらい通信」は議会ごとのA3版発行と週刊のA4版発行があります。過去のはHPで読むことができます。是非ご覧ください。A3版を郵送で購読いただける方は電話・FAX・メールでお知らせ頂けましたら、お送りいたします。ご連絡お待ちしております。

